

介護従事者の働く環境整備に関する要望

要望の要旨

高齢化率のさらなる増加に伴う介護ニーズの増大に対応し、介護事業者が将来にわたって持続可能かつ安定的なサービス提供体制を維持できるよう、介護従事者の働く環境整備について特段の措置を講じるよう要望します。

要望の理由

わが国の高齢化は進行の一途をたどっており、これに伴い介護サービスへの需要は今後ますます増加することが確実視されています。一方で、生産年齢人口の減少により、介護現場における人材不足は深刻な局面にあります。質の高い介護サービスを安定的に供給し続けるためには、現場を支える職員の確保と定着が喫緊の課題となっています。

今後、さらなる介護ニーズの増加が想定される中で、サービスを安定的に提供していくためには、職員の確保・定着が最優先の課題となっています。しかし、現場では物価高騰や

光熱費の上昇が経営を圧迫しており、現行の報酬体系では、質の高いサービスの維持と職員への十分な還元を両立させることが困難な状況にあると考えられます。

加えて、現在の介護現場においては、他産業との賃金格差や業務負担の重さが依然として人材流出の要因となっており、抜本的な解決のためには、介護従事者が将来にわたって希望を持って働き続けられるよう、また、介護事業者が安定してサービスを提供するために、加算による一時的な補填ではなく、運営の根幹となる介護報酬本体の底上げが不可欠であります。

今後の介護報酬改定にあたっては、上述の課題を十分に踏まえ、介護事業者が経営の安定を図りつつ、職員の処遇や労働環境の整備に十分な投資ができるよう、要望するものです。